

PROGRAM NOTE

ふれあいインタビュウ <HCJBリスナーをたずねて・第二弾>

今月のサタデー・トークは、宮城県仙台から続いておとずれた岩手県盛岡と栃木県那須でのインタビュウをお送りします。

11月5日は、盛岡で中学の時に「アンデスの声」をききはじめ、南米の音楽に魅せられた上村憲一さん。12日は、被災地にトラック輸送をしておられた滝沢村の早坂敬司さん。Eスポの秘話もきかせてください。19日は、栃木県那須高原教会のハウス・オブ・レストでお会いしたCRASH JAPAN のボランティアの 小森谷修代さん、Paul Wagnerさん、林優司さん、Joseph Zee さん、野田創介さんにそれぞれお話をうかがいます。26日は、この夏東京淀橋教会でひらかれた「関東地区リスナーの集い」を放送します。大震災直後に「日本短波クラブ」から東日本大震災への義援金が淀橋教会にお寄せいただきました。放送を通じて結ばれている友好の絆に感謝しながら、峯野龍弘牧師からのお礼のことばと新川牧師からは 教会ボランティアが救援物資といっしょに思いをとどけている現地での活動ぶりを報告してくださいました。

日曜日のバイブル・トークは先月からはじまった新シリーズ「聖書遊覧バス」が名所旧跡へみなさまをご案内くださいます。案内役の峯野龍弘先生も何役もこなされていますので大変のようですが、日曜の朝早くの放送ですので皆様も乗り遅れないように・・・

日本語放送担当

尾崎一夫



被災地支援の拠点として那須センター活動開始

東日本大震災の被災地支援に取り組むキリスト教系の災害支援団体「CRASH JAPAN (クラッシュ・ジャパン)」の活動拠点「那須ディストリビューション・センター」が高久乙に完成し、5月28日、開所セレモニーを行った。同団体は岩手、宮城、福島各県に計4カ所の活動拠点を持ち、水や食料、紙おむつなどの物資輸送を行っている。今回の那須センターはこれらの拠点との接続拠点で、地元住民の土地を借り受け約180平方メートルのプレハブ平屋倉庫を新設した。クリ



スチャンのネットワークを生かし、国内外から届く支援物資を被災地の教会などを通じ現地の人々に届ける。スタッフ3、4人が常駐し最低一年間は活動を続けるという。（下野新聞の記事より）

CRASHとは、Christian (クリスチャン) Relief (救済) Assistance (協力) Support (支援) Hope (希望) の頭文字を取って名付けられた団体で、被災者を支援するために、日本や世界中のクリスチャンを通して集められた募金、物資、ボランティアを現地に送り、希望と愛を届けるためのネットワークです。

『サタデー・トーク』

きき手 尾崎一夫

毎週土曜日放送

11月 5日	日本ふれあいインタビュウ 上村憲一 (岩手県盛岡市)
11月12日	日本ふれあいインタビュウ 早坂啓司 (岩手県滝沢村)
11月19日	日本ふれあいインタビュウ CRASH JAPANスタッフ
11月26日	日本ふれあいインタビュウ 関東リスナーの集い (1)

放送後の番組は、ホームページ (<http://japanese.hcjb.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

『バイブル・トーク』

東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師

毎週日曜日放送

11月 6日
11月13日
11月20日
11月27日

新シリーズ

<聖書遊覧バス>

放送時間：日本時間午前7時半～8時

(米国アリゾナ制作／オーストラリア送信)

放送周波数： 15525kHz 19mb